ＤＳＣ会長からの手紙

　今月は滋賀県の吉川寿一が担当で私の思いをお伝えしたいと思います。
五十歳前に始めたダンスが早いもので 10 数年が過ぎてしまいました。
競技ダンス人口の平均年齢も６５歳近くとアップし続けております。
このまま行けば 10 年後には減少が避けられないと心配しております。
　私は少しでも普及のためになればと思い、数年前にジュニア指導員の資格を取り滋賀県大津市で指導員仲間と子供たちの指導をしております。
昨今子供たちの教育界の中学校では必修科目となり非常にダンスが人気をはくしております。また、小学生以下の子供を持つ母親対象に我が子にやらせたい習い事調査結果ではダンスが 5 番目と高い支持ですが、しかし、人気なのはヒップホップなどでダンススポーツはジュニアダンス大会が全国レベルで何回もあるにもかかわらず、あまり普及していないスポーツになっているように思います。
　いかにして子供たちに興味を持たせるかが問題で、まずは今競技会に出ておられる方が子供やお孫さんを連れて子供ダンス教室に行っていただく。
これが一番かなと思います。
　今興味を持たなくても何年か後に思いだしダンスを始めてくれたらいいなと思います。
話は少し変わりまして、私は今回はじめてＪＤＳＦの運営にかかわる役を引き受けましたが、そのおかげで各県の役員さん本部の役員さんのお仕事の大変さがよくわかりました。
　競技会は主催者の方々と出場者が一体となって競技会を盛り上げていく必要があると思います。出場する我々も競技するだけでなく、守らなければならないエチケットがあります。まずトイレの使用方法ですが、ダンスシューズのまま邪魔くさいから使ってしまうなどのマナー違反、これが公営の体育館で見つかってしまえば体育館使用禁止になってしまい運営側に多大な迷惑がかかる事もあります。ちょっとしたことですがちょっとしたことが会場使用禁止なり我々出場者にも不利益になりますので注意していただきたいと思います。
他にもたくさんのマナーがあると思いますがみんなで守りあい、良い雰囲気の競技会にしていきましょう。